

**平成29年度**  
**事務事業別予算概要書**

**(政策企画部関係)**



平成29年度事務事業シート(計画)目次

大綱	目標	施策	事務事業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
<b>第3節 環境と調和した生活しやすいまち -快適づくり-</b>						
<b>3-7 すべての人にとって移動しやすい公共交通網の充実</b>						
			307	1 公共交通対策事業	政策推進課	..... 1
			307	2 総合交通戦略推進事業	政策推進課	..... 2
<b>第4節 交流が盛んなにぎわいのあるまち -活力づくり-</b>						
<b>4-9 大学や学生との交流・連携によるまちづくりの推進</b>						
			409	1 大学連携推進事業	企画課	..... 3
<b>4-10 にぎわいある都市拠点・地域拠点の形成</b>						
			410	3 道の駅整備事業	政策推進課	..... 4
<b>4-11 国際交流の推進と多文化共生のまちづくりの推進</b>						
			411	1 国際化推進事業	企画課	..... 5
<b>4-13 地域特性を活かした移住・定住の促進</b>						
			413	1 定住促進事業	市政情報課	..... 6
			413	2 シティプロモーション推進事業	市政情報課	..... 7
<b>第5節 新たな発想を活かした自立と協働のまち -自立のまちづくり-</b>						
<b>5-1 情報通信技術を活用した地域の活性化</b>						
			501	1 情報通信基盤整備事業	市政情報課	..... 8
<b>5-2 多様な市民参画の仕組みづくり</b>						
			502	5 広報活動事業	市政情報課	..... 9
<b>5-3 市民ニーズに対応したサービスの提供</b>						
			503	1 電算処理システム管理運営事業	市政情報課	..... 10
<b>5-4 効率的な行政経営の推進</b>						
			504	11 広域行政推進事業	企画課	..... 11
			504	12 総合計画推進事業	企画課	..... 12
			504	13 企画調整事業	政策推進課	..... 13

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>		事務事業番号	307 - 1	新規・継続	継続
事務事業名	公共交通対策事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
所 属	政策企画部 政策推進課 交通政策係			総合計画施策体系	3 - 7

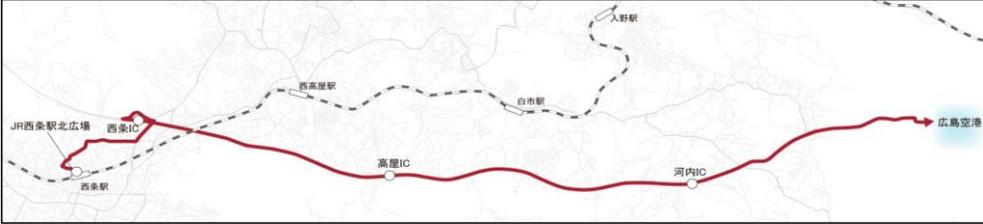
<b>2 事務事業の概要・活動計画・指標</b>							
目的 (何のために)	市民生活に不可欠な公共交通網の維持確保及び利用促進を行う。						
対象 (誰・何を対象に)	市民及び来訪者						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 地域公共交通会議の運営(1,140千円) 「地域公共交通会議」において、地域公共交通再編実施計画の進捗管理を行うとともに、バス路線の再編に関する継続的な協議を行う。</p> <p>2 公共交通の維持確保及び利用促進(137,830千円) 維持・確保すべき生活交通の欠損額等に対し、国・県・市がそれぞれの区分に応じて補助等を行うことによりその存続を図る。 (1) 生活路線バス維持確保 (2) 地域公共交通維持確保 (3) 生活航路維持確保 (4) 公共交通の利用促進</p> <p>3 広島空港関連(3,793千円) 広島空港施設整備(更新等)に係る広島県への負担金及び空港周辺対策協議会への補助金を支出する。</p> <p>4 JR駅の管理運営(16,690千円) JR安芸津駅及び平成29年3月開業のJR寺家駅について、駅舎の管理運営を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	地域公共交通利用者	人	15,523	16,300	16,600		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	移動そのものは手段であり、目的(通勤、通学、通院、買い物等)達成のため必要となるものである。本事務事業の目標は、効率的に移動できる環境を整備することにある。したがって、誰でも利用することのできるJR、路線バス等の公共交通の運行経路、運行範囲から400mを超える地域を公共交通の利用が困難なエリアとして公共交通空白地域とし、その空白地域外の人口比率を成果指標として設定する。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	公共交通空白地域外の人口比率	%	80	80	81		

<b>3 コスト情報</b>		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	874,008 千円	664,495 千円	159,859 千円	千円
	財源内訳	1,576 千円	90,387 千円	1,385 千円	千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	564,708 千円	187,885 千円	25,992 千円	千円
	その他	307,724 千円	386,223 千円	132,482 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>		事務事業番号	307 - 2	新規・継続	継続
事務事業名	総合交通戦略推進事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
所 属	政策企画部 政策推進課 交通政策係			総合計画施策体系	3 - 7

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市民や来訪者の様々な移動ニーズを踏まえ、利便性の高い公共交通網の形成を目指す。						
対象 (誰・何を対象に)	市民及び来訪者						
事業の概要 及び H29活動計画	<p><b>【新】1 地域公共交通再編の推進(21,386千円)</b>                      地域公共交通再編実施計画に基づき交通結節点の整備(測量及び基本設計)に着手するとともに、今後のバス路線再編に向けて計画の認定作業を行う。</p> <p><b>【新】2 新たな路線バスの運行(34,156千円)</b>                      (1) 広島空港リムジンバス                      JR西条駅から広島空港へ直結するリムジンバスを運行する。                      運行時期は平成29年10月、当初は10往復程度の便数を目指す。                      JR西条駅北口へのバス停設置や駅舎へのバスロケーションシステム整備など、利便性の向上に取り組むとともに、周知チラシやポスターの作成を含めた積極的な利用促進を行う。                      また、白市駅と広島空港を結ぶルートへの影響を見極めながら、入野地区バス路線の利用改善に取り組む。</p>  <p>(2) 市街地循環バス                      西条市街地において、買物・通院などの生活交通として利用できる循環バスを導入する。                      運行時期は平成29年10月、当初は内回り・外回りそれぞれ24便程度を目指す。                      利用促進を目的とした利用者優遇制度の導入に向けて、周辺店舗等と連携を図る。</p> <p><b>【新】3 JRの利用促進(17,723千円)</b>                      JR寺家駅整備に関連する用地交換及びJR西高屋駅ホームのバリアフリー化を推進する。</p> <p>※本事業は、平成29年度より公共交通対策事業から分割し、総合交通戦略推進事業として公共交通網の形成を推進する。</p>						
活動・結果指標	<b>【活動・結果指標名】</b>	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	地域公共交通の運行路線数	本	14	13	14		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	今後、市内4か所の新たな交通結節点の整備状況と、整備に伴うバス路線の再編状況を活動・結果指標として設定し、成果指標としては、引き続き公共交通空白地域外の人口比率を採用する。						
成果指標 (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	公共交通空白地域外の人口比率	%	80	80	81		

## 3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	千円	千円	73,265 千円	千円
	財源内訳				
	<sub>1</sub> 国県支出金	千円	千円	2,000 千円	千円
	<sub>2</sub> 地方債	千円	千円	千円	千円
	<sub>3</sub> その他	千円	千円	12,126 千円	千円
	<sub>4</sub> 一般財源	千円	千円	59,139 千円	千円

## 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>		事務事業番号	409 - 1	新規・継続	継続
<b>事務事業名</b>	大学連携推進事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
<b>所 属</b>	政策企画部 企画課 国際学術都市推進係	総合計画施策体系	4 - 9		

<b>2 事務事業の概要・活動計画・指標</b>							
<b>目的</b> (何のために)	大学が有する人材、施設、専門知識等を活かしながら、あらゆる分野において大学や学生と地域の交流・連携が活発に行われる、大学と地域が融合したまちづくりを推進する。						
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	市内4大学(広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、エリザベト音楽大学)の学生や教職員、地域住民(市内大学生及び教職員数18,480人(平成28年5月1日現在))						
<b>事業の概要及びH29活動計画</b>	<p><b>1 学園都市づくり交流会議の支援(2,800千円)</b></p> <p>(1) 趣旨:平成5年設立。大学と地域との交流を通じて、相互理解と親睦を深め、大学の地域への定着を促進し、文化の薫り高い学園都市づくりに寄与する。</p> <p>(2) 構成員:広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島商工連絡協議会など</p> <p>(3) 平成29年度活動計画:</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 地域と大学のマッチング活動の奨励 地域活動に関する情報の一元化やホームページによる情報発信力の強化など、学生と地域を結ぶコーディネート機能の充実を図り、地域における多様な交流・連携活動を促進する。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 新入生向け地域情報誌の作成 広島大学・近畿大学工学部・広島国際大学の新入生に、東広島市の情報を掲載した小冊子を作成し配布する。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 地域課題研究懸賞論文 大学院生、学部生、研究生から、東広島市の地域課題に対する研究懸賞論文を募集し、優秀な研究を表彰することにより、本市における学生等の学術研究活動を促進し、大学と地域が連携したまちづくりを推進する。ほか</p> <p><b>2 4大学連携事業の推進(228千円)</b> 市長と市内4大学の学長による懇談会を開催し、大学連携事業における方向性や課題等について意見交換を行うとともに、各大学の特色が活かされた連携事業のより一層の充実・発展を図ることにより、相互間のパートナーシップの強化を推進する。</p> <p><b>【新】3 MICE(学会等)開催の促進(3,060千円)</b> 本市が広く地域の人々の創造性を育む学習の場となり、国内外に開かれた学術、技術及び国際化の情報発信基地となることを目的とし、市内におけるMICE(学会等)の開催を促進するため学術会議・国際学会等の誘致や開催助成など段階に応じた支援を行う。</p> <p><b>【新】4 学生の地域活動支援(5,935千円)</b> 学生の主体的な地域活動を支援するとともに、地域体験ツアーや地域活動を企画・実践する講座の開催など、学生の地域社会における様々な活動や体験が可能となる機会の創出を図る。また、こうした活動や学生と地域の交流・連携を促進するためのコーディネート機能の充実を図ることにより学生の地域活動を促進し、学生の本市への愛着心を育てるとともに地域の活性化に繋げる。</p>						
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績)</b>	<b>28年度(目標)</b>	<b>29年度(目標)</b>		
	学会等開催に係る支援件数	件	-	12	22		
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	大学(学生)と地域の連携による取組みや課題解決事例等を増加させることを目標に、大学(学生)と地域や行政の連携実績数を成果指標としている。						
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績値)</b>	<b>28年度(目標値)</b>	<b>29年度(目標値)</b>	<b>30年度(目標値)</b>	<b>32年度(目標値)</b>
	コーディネートした学生活動数(延べ数)	件	6	18	30		60
	大学との連携事業数	件	113	124	125		130

<b>3 コスト情報</b>		<b>27年度(決算)</b>	<b>28年度(予算)</b>	<b>29年度(予算)</b>	<b>30年度(予算)</b>
<b>事業費</b>	<b>事業費合計(A)</b>	2,934 千円	4,383 千円	12,023 千円	千円
	<b>財源内訳</b>				
	<b>国県支出金</b>	千円	500 千円	3,598 千円	千円
	<b>地方債</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>その他</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>一般財源</b>	2,934 千円	3,883 千円	8,425 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	410 - 3	新規・継続	継続
事務事業名	道の駅整備事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
所 属	政策企画部 政策推進課 プロジェクト推進係			総合計画施策体系	4 - 10

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	本市の観光資源や特産品等の魅力の発信、子育て世代への定住促進等、本市が目指す地方創生に資する道の駅を一般国道2号西条バイパス沿線に整備する。																																																																			
対 象 (誰・何を対象に)	道路利用者、市民等																																																																			
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 埋蔵文化財調査(20,662千円) (仮称)「道の駅 西条」の整備予定地内の埋蔵文化財調査を実施する。</p> <p>2 用地取得(70,000千円) (仮称)「道の駅 西条」の整備予定地の用地の購入費用。</p> <p>3 運営検討及び事業者選定支援業務(7,580千円) (仮称)「道の駅 西条」の地域連携施設の運営に係る詳細な検討及び整備や運営管理事業者を選定するための準備を行う。</p> <p>4 検討会議の開催(460千円) (仮称)「道の駅 西条」の地域連携機能の検討にあたり、関係者の視点から意見を求め、事業に反映させるため、関係者で構成する検討会議を開催する。</p>																																																																			
	 <p>(仮称)「道の駅 西条」 基本計画 鳥瞰図</p>	<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 基本計画の策定</td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 事業手法の選定</td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 測量・地質調査・造成設計</td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 用地測量・用地買収</td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 造成等工事</td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 建物設計・工事</td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 運営事業者選定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 道の駅開設・登録準備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(仮称)「道の駅 西条」 整備までの工程表</p>		H27	H28	H29	H30	H31	H32	1. 基本計画の策定							2. 事業手法の選定							3. 測量・地質調査・造成設計							4. 用地測量・用地買収							5. 造成等工事							6. 建物設計・工事							7. 運営事業者選定							8. 道の駅開設・登録準備									
	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																														
1. 基本計画の策定																																																																				
2. 事業手法の選定																																																																				
3. 測量・地質調査・造成設計																																																																				
4. 用地測量・用地買収																																																																				
5. 造成等工事																																																																				
6. 建物設計・工事																																																																				
7. 運営事業者選定																																																																				
8. 道の駅開設・登録準備																																																																				
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)																																																															
	用地取得の完了	%			100																																																															
		%																																																																		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	施設整備事業(ハード事業)であるため、成果指標が設定しにくい。																																																																			
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)																																																													

## 3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	千円	70,471 千円	127,885 千円	千円
	財源内訳				
	<sub>1</sub> 国県支出金	千円	千円	千円	千円
	<sub>2</sub> 地方債	千円	千円	千円	千円
	<sub>3</sub> その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	千円	70,471 千円	127,885 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	411 - 1	新規・継続	継続
事務事業名	国際化推進事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
所 属	政策企画部 企画課 国際学術都市推進係	総合計画施策体系	4 - 11		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	多様な国際交流や国際感覚豊かな人材の育成を図るとともに、国籍や民族などの異なる人々が言語や文化、生活習慣の違いを認め尊重し合いながら地域社会の一員として、心豊かに暮らせる多文化共生のまちづくりを進める。							
対象 (誰・何を対象に)	市内に居住もしくは通勤、通学等している者 (参考:住民基本台帳に登録されている外国人市民:5,763人(平成28年12月末))							
事業の概要 及び H29活動計画	<p><b>1 コミュニケーションコーナー運營業務(11,633千円)</b> 外国人市民の生活上の問題に関する相談に、英語、ポルトガル語及び中国語で対応する相談員をサンスクエア東広島に配置するほか、月1回弁護士による法律相談を実施する。</p> <p><b>2 外国人生活オリエンテーション事業(2,468千円)</b> 外国人市民が市窓口で手続きをする際に、必要に応じて英語又は中国語で通訳を行うほか、外国人市民に対して、本市で生活する上で必要な情報や行政サービス情報等についてオリエンテーションを行うことにより、外国人市民が安心して生活できる環境づくりを進める。</p> <p><b>3 東広島市国際化推進協議会の支援(9,785千円)</b> (1) 趣旨:国際交流事業を効果的に実施することにより、東広島市の国際化に寄与するとともに、国際相互理解の増進と国際友好親善の促進を図る。 (2) 構成員:広島大学、エリザベト音楽大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市女性連合会、西条酒造協会、JICA中国、ひろしま国際センターなど (3) 平成29年度活動計画:多文化共生コーディネーター等の配置、日本語教室の開催、国際交流ボランティア事業、外国語による情報提供、留学生支援事業、国際交流事業ほか</p> <p><b>4 ひろしま国際プラザ多文化共生事業推進業務(2,000千円)</b> 本市及び広島県内の国際交流・国際貢献の活動拠点となっている「ひろしま国際プラザ」を活用した多文化共生事業を推進する。</p> <p><b>5 広島県留学生活支援センター負担金(1,500千円)</b> 県内の大学等教育機関、自治体、関係団体が連携し、留学生の受入促進や支援を一元的に行うことを目的に設立された組織の活動に対して事業費を負担する。</p> <p><b>6 行政における受入体制整備(1,704千円)</b> 行政資料の翻訳や多言語での情報発信、職員啓発のための研修等を実施するほか、外国籍の児童生徒が在籍する学校に対して通訳等の支援者を派遣し、受入体制の整備を進める。</p> <p><b>7 JICA研修の実施(26千円)</b> JICA中国が実施する研修コースの1つである「排水処理技術コース」の実施機関として、研修計画や研修実施の中心的役割を担い、国際協力を推進する。</p>							
	活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
		コミュニケーションコーナー相談人数(延数)	人	3,279	3,400	3,600		
		国際交流ボランティア登録数	人	399	425	450		
	成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	外国人市民への支援機会を増やすため、外国人市民の居場所及び地域社会との接点になる場でもあるコミュニケーションコーナーの利用者数と、地域住民との交流及び相互理解を促進するため、多様な交流機会等の提供を行う多文化共生事業参加者数を成果指標としている。						
	成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	32年度 (目標値)
		コミュニケーションコーナー利用者数(延数)	人	12,934	13,100	13,700		16,000
	多文化共生事業参加者数	人	2,617	2,660	2,730		3,000	

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	29,440 千円	25,424 千円	31,015 千円	千円
	財源内訳				
	国庫支出金	千円	447 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	29,440 千円	24,977 千円	31,015 千円	千円
	一般財源	千円	千円	千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	413 - 1	新規・継続	継続
事務事業名	定住促進事業	一般会計	2 款 1 項 7 目	ソフト
所 属	政策企画部 市政情報課 シティプロモーション推進係		総合計画施策体系	4 - 13

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	首都圏をはじめ、市外から東広島市へのUIJターン希望者を受け入れる環境を整備することにより、東広島市への移住・定住を促進する。						
対象 (誰・何を対象に)	東広島市へのUIJターン希望者						
事業の概要 及び H29活動計画	<p><b>1 「東広島定住サポートセンター」の運営</b> 市外から東広島市へのUIJターンに関心をもつ人の相談窓口を運営し、きめ細かい相談対応を行う。併せて、各部署が所管する定住促進に役立つ事業等について情報提供を行う。 また、移住・定住の促進に積極的に取り組む住民自治協議会と連携し、空き家の所有者に対する空き家利活用の意向確認や、定住サポートセンターに来られた移住・定住希望者とのマッチングを支援する。</p> <p><b>2 定住フェア等への参加(645千円)</b> 首都圏・関西圏で開催される定住フェア等へ参加することにより、東広島市のUIJターンに関する情報を発信するとともに、東広島市へのUIJターンに関心ある相談者への対応を行う。</p> <p><b>【新】3 周辺地域別定住促進リーフレット作製(697千円)</b> 人口減少が進む周辺地域において、定住促進による地域の活性化を図る中、周辺地域と一言で言っても各地域にはそれぞれに文化や特色がある。 そのような各地域と移住希望者のマッチングを促進するため、移住希望者が求める情報や地域の魅力・思いを地域別にとりまとめたリーフレットを作成し、窓口や定住フェア等で活用する。</p> <p><b>4 東広島くらし実体験バスツアーの開催(1,609千円)</b> 東広島市へのUIJターンに関心のある人を対象に、UIJターンを受け入れる地域の関係者などから話を聞き、併せて移住・定住の視点で地域を散策する日帰りバスツアーを開催する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【UIJターン】</b>=3つの人口還流現象の総称</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターン現象: 地方から都市へ移住した後、再び地方へ移住すること。</li> <li>・Jターン現象: 都市から地方へ移住、特に出身地とは別の地方へ移住すること。</li> <li>・Iターン現象: 地方から大規模な都市へ移住した後、地方近くの中規模な都市へ移住すること。</li> </ul> </div>						
活動・結果指標	<b>【活動・結果指標名】</b>	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	定住フェア・セミナー等への出席回数	回	0	5	5		
	東広島くらし実体験バスツアー参加人数	人	-	(実績値) 14	20		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	平成28年4月に開設した「東広島定住サポートセンター」や定住フェア等での相談受付件数(※H27実績値は、地域政策課(H27の定住促進に係る業務の所管課)窓口・電話等での受付件数)、及び、定住サポートセンター利用者のうち、最終的に本市へ移住・定住に結び付いた世帯数の平成28～32年度の5年間の延数を成果指標に設定する。						
成果指標 (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	32年度 (目標値)
	定住相談受付件数 (市窓口・電話・フェア等)	件	37※	60	100	-	-
	定住サポートセンター利用者のうち、移住・定住に結び付いた世帯数(延数)	世帯	-	0	5	-	20

## 3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	174 千円	318 千円	3,165 千円	千円
	財源内訳				
	<del>  </del> 国県支出金	千円	千円	1,148 千円	千円
	<del>  </del> 地方債	千円	千円	千円	千円
	<del>  </del> その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	174 千円	318 千円	2,017 千円	千円



## 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>		事務事業番号	501 - 1	新規・継続	継続
事務事業名	情報通信基盤整備事業	一般会計	2 款	1 項	8 目
所 属	政策企画部 市政情報課 情報政策係			総合計画施策体系	5 - 1

### 2 事務事業の概要・活動計画・指標

<b>目的</b> (何のために)	地域間情報格差を是正するため整備した情報通信基盤の利活用を促進する。						
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	民間事業者によるブロードバンド・サービスの提供が期待されない地域						
<b>事業の概要及びH29活動計画</b>	<p><b>1 情報通信基盤の保守等(94,946千円)</b>                      情報通信基盤(光ファイバケーブル網)の修繕、支障移転などの保守や維持を行う。                      「修繕」点検等により発見した不良箇所の修繕を行うもの                      「支障移転」道路改良工事などに伴う線路設備の移設等を行うもの                      「維持」ケーブル共架等に係る使用料や経費を負担するもの</p> <p><b>2 情報通信基盤を用いたサービスの提供(41,092千円)</b>                      公設民営による通信・放送サービスを提供するための引込線(ケーブル)を敷設する。                      「引込線の敷設」新規の利用申込みに対して情報通信基盤の支線(分岐点)から利用者宅までの引込線を敷設するもの</p> <p><b>3 対象地域(情報通信基盤の整備エリア)</b>                      ・第1期エリア(平成21年度幹支線敷設)                      志和町、福富町、安芸津町                      ・第2期エリア(平成21～22年度幹支線敷設)                      西条町下三永の一部地域、八本松町原・吉川、入野の一部を除く河内町                      ・第3期エリア(平成22年度幹支線敷設)                      高屋町造賀、豊栄町</p>						
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績)</b>	<b>28年度(目標)</b>	<b>29年度(目標)</b>		
	利用申込の件数	件	800	580	540		
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	情報通信基盤の利用促進を図る観点から加入(利用申込)割合を成果指標として設定する。						
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績値)</b>	<b>28年度(目標値)</b>	<b>29年度(目標値)</b>	<b>30年度(目標値)</b>	<b>一年度(目標値)</b>
	加入の割合(累計)	%	48	52	55		60

### 3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
<b>事業費</b>	事業費合計(A)	126,926 千円	120,351 千円	136,248 千円	千円
	財源内訳	千円	千円	千円	千円
	<b>国県支出金</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>地方債</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>その他</b>	75,828 千円	74,575 千円	92,255 千円	千円
	<b>一般財源</b>	51,098 千円	45,776 千円	43,993 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	502 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	広報活動事業	一般会計	2 款	1 項	2 目
所 属	政策企画部 市政情報課 シティプロモーション推進係	総合計画施策体系	5 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標							
目的 (何のために)	市の施策や市民生活に関わりの深い市政情報を各種広報媒体により市民に提供することにより、市政への理解と協力を促し、市民と良好なパートナーシップに基づいた市政の円滑な推進を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	市民、市内事業者						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 広報紙「広報東広島」の発行(53,843千円) 毎月1回、1日に発行し、全世帯に配布する。(約92,500部/月・約36頁/月)</p> <p>2 テレビ広報番組の制作放送(6,697千円) ケーブルテレビを活用し、市政情報及びイベント情報、地域情報等を放送する。 (1) 「マイタウン東広島」: 毎日7時から23時の奇数時55分から5分番組を放送する。 毎週月曜日に放送内容を更新する。年間12番組(月1番組)は手話放送。 (2) データ放送のうち、「くらしの情報」、「防災・防犯情報」の情報発信(一部は情報提供)を行う。</p> <p>3 コミュニティFM広報番組の制作放送(9,682千円) FM東広島を活用し、市政情報及びイベント情報、地域情報等を放送する。 (1) 「東広島日和」: 市と地域の情報を伝える4分番組を毎日朝夕2回放送(7:54~、18:54~) (2) 「東広島ライブ」: 市の職員が出演し、市からのお知らせを毎月第1水曜日(14:00~14:49)に生放送する。</p> <p>4 デジタルサイネージによる広報 (1) 市民課番号案内システム: 市民課が民間との協働により本館1階の市民課交付窓口に設置した2台の番号案内システムにより、月6枠の市政情報を発信する。 (2) 総合案内横ディスプレイ: 管財課が設置した本館1階総合案内横にある出退表示板を表示するディスプレイにより、月6枠の市政情報を発信する。 (3) JR西条駅デジタルサイネージ: 市政情報課が民間と協働でJR西条駅自由通路内に2台、改札内に1台のディスプレイを設置し、月2枠の市政情報を発信する。</p> <p>5 その他自主媒体広報 (1) ホームページにより市の概要や行政情報等を公開する。 (2) フェイスブックにより市政情報、イベント情報などを発信する。 (3) 「くらしのガイド」の作製(1,700千円) 市外から本市へ転入する世帯へ転入手続き時に配布する。(H30~31年度用:20,000部)</p> <p>6 パブリシティ 市の施策や行事等をマスメディアで報道してもらうため、18社に対しプレスリリースを行う。</p>						
	活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	市公式ホームページ及び「東広島市くらしのアプリ」(H28.12~)の月平均アクセス数	件/月	181,336	190,548	191,000		
	東広島市フェイスブック投稿数 (※H27はアカウント名が「東広島シティプロモーション」)	件	205※	100	100		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れにくい成果)	市政に関する情報を多くの市民に届けるため各種媒体で行う広報活動について、東広島市市民満足度調査における「市の広報活動に対する満足度」(「満足している」及び「どちらかと言えば満足している」の回答率)を成果指標に設定する。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (実績値)	32年度 (目標値)
	市の広報活動に対する満足度	%	-	60.0	現状以上	達成率	現状以上

3 コスト情報		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	64,786 千円	68,518 千円	73,003 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	1,871 千円	2,087 千円	2,544 千円	千円
	一般財源	62,915 千円	66,431 千円	70,459 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>		事務事業番号	503 - 1	新規・継続	継続
事務事業名	電算処理システム管理運営事業	一般会計	2 款	1 項	8 目
所 属	政策企画部 市政情報課 情報管理係	総合計画施策体系	5 - 3		

<b>2 事務事業の概要・活動計画・指標</b>							
<b>目的</b> (何のために)	サーバ・パソコン等の電子計算機の高度利用を図り、事務事業の効率化と市民サービスの質的向上を図る。						
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	住民、事業所						
<b>事業の概要及びH29活動計画</b>	<p>1 住民サービス業務システム管理運営業務(41,043千円)</p> <p>(1) 広島県・市町共同利用型電子申請サービス提供業務(437千円) 広島県の共同運用に平成19年から参加。申請メニューは現在、各種税証明書時間外交付、職員採用試験の申込、水道使用中止届等15種類。</p> <p>(2) 広島県・市町共同利用型公共施設予約サービス提供業務(871千円) 広島県の共同運用に平成20年から参加。対象施設は現在、5施設。</p> <p>(3) インターネットGIS運用(1,868千円) 平成19年度から航空写真、バス路線、公共施設位置、地形図、ハザードマップ、固定資産税路線価、都市計画図、下水道供用開始区域などを地図情報としてインターネットで公開している。</p> <p>2 基幹システム再構築及び運用保守業務(45,294千円) マイナンバー法改正対応(5,573千円) 平成29年7月からの情報連携開始に対する対応等を行う。</p> <p>3 内部系システム管理運営業務(35,310千円)</p> <p>4 既存システム機器更新及び保守(42,444千円) 大型ディスプレイの導入(1,629千円) 平成29年4月から稼働する新内部情報系システムにおける電子決裁の効率的な運用を行うため、パソコンのディスプレイを大型のものに更新する。</p> <p>【新】5 セキュリティ関連(9,506千円)</p> <p>(1) セキュリティ強靱化機器保守(3,447千円) 平成28年度に導入したサーバ機器・認証機器等の保守費。</p> <p>(2) ひろしま情報セキュリティクラウド運営負担金(5,190千円) 平成28年度に広島県が構築する「ひろしま情報セキュリティクラウド」の運営負担金。</p> <p>(3) セキュリティクラウドソフトウェア利用料(869千円) セキュリティクラウドの運用監視をより有効なものとするために、パソコン等に導入する監視ソフトウェアの利用料。</p> <p>【ひろしま情報セキュリティクラウドとは】 広島県及び県内市町のインターネットの接続を一つに集約し、高度なセキュリティ対策と24時間365日の専門家による有人運用監視を行うもの。</p>						
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績)</b>	<b>28年度(目標)</b>	<b>29年度(目標)</b>		
	電子申請手続き種類数	種類	13	20	25		
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	電子申請システムについて、申請件数増加による費用対効果を明確にすることによりシステムの有効活用を図るため、申請件数を成果指標として設定する。						
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績値)</b>	<b>28年度(目標値)</b>	<b>29年度(実績値)</b>	<b>達成率(目標値)</b>	<b>一年度(目標値)</b>
	電子申請申請件数	件数	1,340	1,650	1,700		

<b>3 コスト情報</b>		<b>27年度(決算)</b>	<b>28年度(予算)</b>	<b>29年度(予算)</b>	<b>30年度(予算)</b>
<b>事業費</b>	事業費合計(A)	585,090 千円	603,431 千円	299,845 千円	千円
	財源内訳				
	<b>国県支出金</b>	44,755 千円	5,234 千円	千円	千円
	<b>地方債</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>その他</b>	3,863 千円	5,235 千円	5,822 千円	千円
	<b>一般財源</b>	536,472 千円	592,962 千円	294,023 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>		事務事業番号	504 - 11	新規・継続	継続
事務事業名	広域行政推進事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
所 属	政策企画部 企画課 企画調整係			総合計画施策体系	5 - 4

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

<b>目的</b> (何のために)	各種の広域行政組織を構成する市町と連携した取組みを実施することで、本市における交流の促進や地域の活性化を図る。								
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	広島広域都市圏等の各都市圏の住民及び各種イベントの参加者								
<b>事業の概要及びH29活動計画</b>	<p><b>1 広島広域都市圏協議会への参加(239千円)</b>                  広島市を中心とした広島広域都市圏で、圏域内の交流促進や地域の活性化を目的としたイベントへの出店やPR事業を実施することにより、圏域内外から本市域への交流の活性化を図っていく。                  構成市町:11市13町                  (広島市、呉市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、岩国市、柳井市、安芸太田町、北広島町、府中町、海田町、熊野町、坂町、大崎上島町、世羅町、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町)                  (1) 広島広域都市圏PR事業                  (2) まち起こし協議会での取組み                  (3) 「広島広域都市圏発展ビジョン」に基づく取組み(連携中枢都市圏制度)等</p> <p><b>2 広島臨空広域都市圏振興協議会への参加(1,229千円)</b>                  広島空港を取り巻く臨空広域都市圏で、圏域全体の振興発展を目的として、観光振興事業やイベント事業に連携して取り組むことで、本圏域の活性化を図っていく。                  構成市町:4市2町 (竹原市、三原市、東広島市、尾道市、大崎上島町、世羅町)                  (1) 観光振興事業 (サイクリングスタンプラリー事業、住民交流バスツアー事業等)                  (2) イベント事業 (ひろしま空の日ふれあい秋まつり)                  (3) 調査研究事業                  (4) 提案活動</p> <p><b>【新】3 (仮称)広島中央地域連携中枢都市圏協議会への参加</b>                  呉市を中心とした広島中央地域で、国が定める「連携中枢都市圏」制度に則り、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上に関する取組みを行うため、関係市町で連携協約の締結に向けた協議等に参加し、今後の具体的な施策の検討を行っていくもの。                  構成市町:4市4町                  (呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、大崎上島町)</p>								
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績)</b>	<b>28年度(目標)</b>	<b>29年度(目標)</b>				
	ひろしま空の日ふれあい秋まつり来場者数	人	約37,000	約38,000	約38,000				
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	広域行政組織を構成する市町において、圏域内の交流促進や各地域の活性化を目的として、イベント等で市町の特産品販売やPRを実施し、地域資源を通じた魅力の発信に取り組んでいることから、その効果を図る指標として、共同実施イベントへの参加(出店)数を設定している。								
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績値)</b>	<b>28年度(目標値)</b>	<b>29年度(目標値)</b>	<b>29年度(実績値)</b>	<b>達成率</b>	<b>30年度(目標値)</b>	<b>1年度(目標値)</b>
	イベント参加(出店)数	回	4	6	6				

## 3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
<b>事業費</b>	事業費合計(A)	1,710 千円	1,684 千円	1,560 千円	千円
	財源内訳				
	<b>国県支出金</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>地方債</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>その他</b>	千円	千円	千円	千円
	<b>一般財源</b>	1,710 千円	1,684 千円	1,560 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	504 - 12	新規・継続	継続
事務事業名	総合計画推進事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
所 属	政策企画部 企画課 企画調整係	総合計画施策体系	5 - 4		

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	第四次東広島市総合計画に掲げる施策を計画的かつ効率的に実施していくことにより、第四次東広島市総合計画に示す将来都市像の着実な実現を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	市が実施する全事務事業						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 総合計画の進行管理(1,815千円)                      主要な事務事業については、定期的に進捗状況を確認するとともに、庁内で情報を共有する。                      また、PDCAサイクル確立の観点から、各施策に対する市民のニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開における基礎資料として活用するための市民満足度調査を実施する。</p> <p>2 東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証(473千円)                      地方創生審議会を開催することにより、平成31年度までを計画期間とする「東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各施策の進捗状況を把握するとともに、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて「東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直しを実施する。</p> <p>3 政策調整の実施                      主要な事務事業について、中長期的な財政見通しを踏まえ、その必要性・優先度・効果の検討を行ったうえで、重点的に取り組むべき事業の方向性及び規模を定める。</p> <p>4 公共事業評価監視委員会の開催(97千円)                      対象となる公共事業の効率性及び透明性の向上を図るため、社会経済情勢の変化を踏まえたうえで評価を実施し、必要に応じて事業の見直しにつなげる。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	市民満足度調査実施件数	回	-	1	1		
	地方創生審議会の開催件数	件	4	1	1		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	第四次東広島市総合計画後期基本計画に示される推計人口(平成32年に197,000人)を成果指標とするが、この数値は国勢調査の数値を用いるため、国勢調査が実施されない平成28、29年度の目標値は設定しない。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	32年度 (目標値)
	人口(国勢調査ベース)	人	192,907	-	-		197,000

## 3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	6,843 千円	988 千円	2,385 千円	千円
	財源内訳	6,302 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	3 千円	10 千円	10 千円	千円
	一般財源	538 千円	978 千円	2,375 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>		事務事業番号	504 - 13	新規・継続	継続
事務事業名	企画調整事業	一般会計	2 款	1 項	7 目
所 属	政策企画部 政策推進課 プロジェクト推進係	総合計画施策体系			5 - 4

<b>2 事務事業の概要・活動計画・指標</b>							
<b>目的</b> (何のために)	市全体の課題、重要政策、他部局にまたがる事業に係る総合的な調整及び事業推進を行う。						
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	市民						
<b>事業の概要 及び H29活動計画</b>	<p><b>1 大学連携型CCRC構想の推進(1,319千円)</b> 健康・福祉・国際交流に関心の高い都市部等の住民が、大学生・留学生・子育て世代等との多世代、多文化交流を通じて、生涯にわたってアクティブで心豊かな生活ができる場の提供を、大学と連携することで推進する。平成29年度では、広島国際大学との連携による大学連携型CCRC基本構想(平成28年度末に策定)に基づく事業に着手する。</p> <p>《構想のイメージ》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">大学資源の活用</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">多世代・多文化交流</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">地域住民の魅力向上</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">大学の教育研究施設の活用、公開講座の実施等による学び直し(知的刺激)の場を提供</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">移住者、大学生、留学生、地域住民が共に「暮らし、支え合い、学び合い、活動できる」コミュニティを形成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">地域住民に、これまで以上に健康で活躍しつづけることができるサービスや支援を提供</div> </div> <p><b>【新】2 都市再生整備計画(西条駅周辺地区)の策定(4,572千円)</b> 本市の都市拠点である中心市街地(西条駅周辺地区)における都市機能のさらなる集積及び高次化を国の支援(国土交通省の社会資本整備総合交付金)を受けながら図るため、当該地区の都市再生整備計画(計画期間:平成30年度～平成34年度)を策定する。</p> <p><b>3 中央生涯学習センター跡地の活用(1,532千円)</b> 跡地の恒久的利用に係る機能(平成28年度末に方針決定)整備に向けて検討を進めるとともに、当面の財産管理(維持管理等)を行う。</p>						
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	30年度(目標)	
	大学連携型CCRC基本構想に基づく事業に着手	%	-	-	100		
	都市再生整備計画の策定	%	-	-	100		
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	どの事業も構想等を整理している段階(具体的な事業展開の内容が固まっていない)であることから、現段階では事業実施に係る目標値の設定ができない。事業ごとに実施内容等が固まった段階で目標値を設定するものとする。						
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	32年度 (目標値)

<b>3 コスト情報</b>		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
<b>事業費</b>	事業費合計(A)	18,889 千円	24,644 千円	8,507 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	6,274 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	18,889 千円	18,370 千円	8,507 千円	千円